

5月自然教室だより

新緑の生駒滝寺周辺自然観察会報告

辻本 信一

観察会当日の5月16日(月)は、朝から多少の曇り空ながら風もなく、絶好の観察日和となりました。本日の講師は田代貢先生。集合場所の近鉄生駒駅中央改札口には新しく入会された会員の方や田代先生の熱心なファンの方、総勢19名が集いました。



【近鉄生駒駅にて朝の集合】

田代先生ご案内による生駒滝寺周辺の自然観察会としては2018年10月の秋以来の観察会となりましたが、例により準備は万端。ご用意いただいたB4の配布資料には観察ルートマップにそれぞれの観察ポイントの植物名と説明の図解がビッシリ。皆さまも同じだと思いますが、我が家では、これまでの資料全てを貴重なお宝として大切に保管しています。



【川べりでの説明】



【階段上からの説明】

田代先生のご説明は、当日の植物に直に触れ、ルーペ、カッター、ライターなどの小道具も使用し植物の秘密に迫りますが、それぞれのテーマに合わせ事前にご用意いただいた図解をふんだんに使用して説明されるのが特徴です。更に必要なものについてはその場でフリーハンドの絵を披露いただいてのご説明も毎度のこと。

それぞれの観察ポイントでは、川辺にいたり、階段の上からの説明となったり、参加者に対する立ち位置も工夫されていることが自ずと伝わってきます。それゆえ参加者の皆さんも熱

心にノートを取り、終始真剣な眼差しで話に集中してくださいます。



【ツクシとスギナ】



【ヤブガラシの仮軸分枝】

コロナ対策として年年内は午前中の観察会が続きますが、限られた時間内でひとつでも多くの先生の熱意は、「目につくものは何でも手当たり次第」の勢いで説明が次々と繰り出されます。それはまた参加者の皆さまの好奇心が満たされる瞬間でもあり、参加者の満足げな表情に現れます。本日も田代先生のご案内の対象は植物のみに留まらず、カタツムリ、アリジゴクや果ては生駒ケーブルの構造にまで及び、終わって見れば40以上の対象物の説明を受けました。



【ケーブル軌道の説明】



【アリジゴクを探し】

何れにしても、これだけ数多くのまた中身の濃いお話をA4サイズ1頁の紙面で満足のいくように紹介するのは所詮無理と感じ、今回は当日の観察会の様子に的を絞り紹介させて頂きました。代わりに貴重な観察会の資料は直近のならやまでの活動日に希望者にお配りすることにいたします。



【集合写真滝寺境内にて】

今回の記事で田代先生ご案内の自然観察会に興味を持たれた方、次回6月27日(月)の白毫寺周辺での自然観察会に是非ご参加ください。奮ってのご参加お待ちしております。